



第2回 Advanced Breast Conference



乳がんの罹患率が40歳台でピークを迎える日本では、マンモグラフィ検査、超音波検査、およびMR検査は、乳がん検診において重要な検査方法です。マンモグラフィ装置では、フラットディテクタなどの技術的進歩、開発によりデジタル化が進んでいます。また、超音波検査においては、自動スキャンによる検診システムや組織の硬さによる評価などが加わり、検査が多様化しています。近年ではMR検査の重要性も報告されており、MRIガイド下で生検を行う施設も増えてきました。シーメンスでは、これらの最新技術情報をご提供する一つの機会として、「Advanced Breast Conference」を開催しています。

第2回となるAdvanced Breast Conferenceは、2015年8月1日福岡にて行われました。今回は、特別講演として「読影の補助（一次読影）の取り組み」と題し、相良吉昭理事長、画像検査部 原口織歌が講演させていただき、基調講演として「マルチモダリティによる乳がん画像診断」と題し亀田京橋クリニック 戸崎光宏先生にご講演頂きました。

